



お茶会  
母親同士のコミュニケーションづくり

新米ママの交流の場として、入院中にはお茶会が開かれ、美味しいおやつと共に、自分の出産体験などを話し合ったり盛り上がりがあります。また退院後の1ヵ月健診の他に、2ヵ月育児相談も行われていて、母乳育児のフォローや離乳食のお話の他に、母親同士が話し合える時間も。悩みを話したり気分転換をしたりと、楽しい育児のため大切な時間となっています。

DATA

- 住所 福岡市博多区店屋町8-10
- TEL 092-291-0328
- http://www.morishita-mc.com
- 理事長 森下 裕
- 院長 森下 哲哉
- 副院長 森下 富士夫
- 診療科目 産科・婦人科
- 診療時間 月曜・火曜・水曜・金曜  
9:00~12:30  
14:30~18:00  
水曜・土曜  
9:00~12:30
- 休診日 日曜・祝日
- 駐車場 6台

MAP



マタニティヨガ入門講座



カンガルーケア



病室

持つ母性を大切にしています。当院では生まれてすぐから赤ちゃんをお母さんの胸に抱かせて産後30分前後には授乳をしてもらう。カンガルーケアを行っています。また、基本的に出産直後より母子同室で、お母さんが横になっても赤ちゃんの顔が見えるように、ベッドは低く設計されています。また、産後24時間以内の触れ合いが母乳育児にとつていかに大切か最近の研究でも明らかになってきました。疲れるのではと思う方もいらっしやうと思いますが、実際母親は産後6時間くらいまで興奮状態が続き、一人でいても眠れません。これは出産の痛みを耐えるためのアドレナリンというホルモンの働きのためですが、出産の達成感の中で赤ちゃんの気配を感じ、お母さんの匂いを感じながら過ごすこのひときは、赤ちゃんとの大切な触れ合いのために用意された時間なのかもしれません。

入院中に母乳育児に慣れることによって、お母さんと赤ちゃんの絆が自然と深まり、お互いの信頼感から退院後の育児も自信が持てるのだとか。スキップを大切に、楽しく子育てをして欲しいというスタッフの熱い思いが伝わってきます。



外観



キッズコーナー



待合室

森下 産婦人科医院

生命の自然な営みを見つめて  
自然分娩と母乳育児の大切さを考える

「おばあちゃんからお孫さんまで、親子3代この病院で生まれました。」という方も多い森下産婦人科医院は、世代を超え、地域の方々に厚い信頼を寄せられています。

開業当初から、より自然な分娩、母乳育児に取り組み、2003年にはユニセフとWHOより「赤ちゃんにやさしい病院」の認定を受けました。

二人の女性が母親となる出産の場面は、とても感動的です。だからこそ自然に逆らわず、産もうとする本人の力が満ちてくるのを、可能な限り待つていたいと思っています。古来より妊娠は自然の営みの中で、医療の介入なしに行われてきました。医療の進歩によって、妊婦さんや生まれてくる赤ちゃんの安全を最優先と考えるあまり、医療介入することが日常化していますが、そのために失われてきたものもあると、私は今は今気づきはじめていたのかもしれない。そのなかで、当院では、例えば薬や点滴、会陰切開なども、妊婦さんの意欲や体力、分娩の進み具合を見極め、できるだけ行わずに産できるようにサポートしていきます。そして妊婦さんにも、自分の力で産むための積極的な働きかけとして、ウォーキング分娩のための筋力作りづくりやマタニティヨガ（痛みを逃すためのリラクゼーション法）をお薦めしています。

母乳育児においては、お母さまそれぞれが



院長  
森下 哲哉  
Tetsuya Morishita

出産は、女性が自分の潜在能力の素晴らしいさを知る絶好のチャンスです。だからこそ感動し、自分の力で産めたいという自信は、その後の育児への大きな自信につながっていくのだと思います。これからはスタッフの心をあわせて、妊婦さんを指導するのではなく、見守るようにサポートしていきたいと考えています。

「赤ちゃんにやさしい病院」に認定されたときに与えられたプレート、母乳育児を通して、母子の絆の形成を支援し、実践していることがユニセフとWHOに認められた産科施設に与えられるものです。絵は、ピカソの作品。



**母乳育児シンポジウム**

全国各都府県で、熱心に母乳育児を行っている産婦人科医、小児科医、母乳育児シンポジウムが開催されています。子どもの発達や心の安定に大きく関わり、その素晴らしいが現在見直されています。母乳育児、母乳育児についての新しい科学的発見や、医学的にも高いレベルでの研究発表、デスカンションが行われるシンポジウムへの参加者は年々増えており、母乳育児に対する関心の高まりが感じられます。

当院でも、組織の向上のために毎年参加しており、医療として真付けられた母乳育児のありかたを考えたい。施設、丸となつて母乳育児支援を行っています。

2004年4月にはなんと地元地元で開催されました。シンポジウムの中心は「お母さん」が参加できるプログラムも用意されています。興味のある方は、ぜひ当院までお問い合わせください。

**母乳育児を成功させるための3ヵ条(山内)**

- 1. お産後30分前後での早期授乳
- 2. 母子同室
- 3. 赤ちゃんと一緒に生活すること

（最初の24時間で8回以上の授乳・妊婦中からの乳管開通操作）

